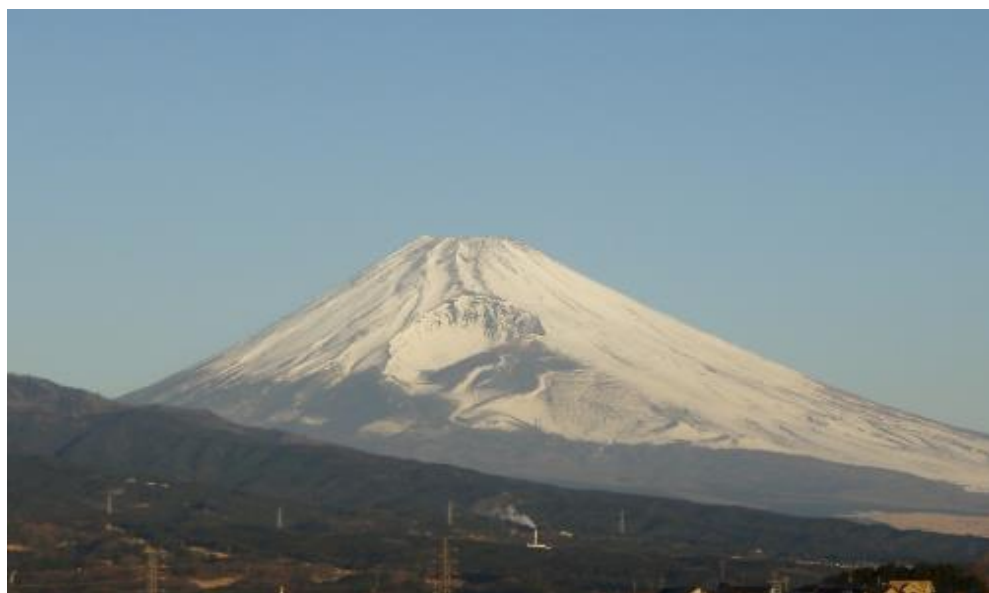


エコアクション21 環境経営レポート 2023.7.1～2024.6.30



2024年9月30日 発行

株式会社 フジモト

環境経営活動

1.事業概要

P-1

2.環境経営方針

P-2

3.環境経営システム実施体制

P-3

4.環境経営目標・環境経営活動計画

4. 2 計画/結果/評価表

4. 3 3年間の実績推移

P4~9

5.環境経営活動の計画と
取組み結果の評価
及び次年度の取組内容

P-10

6.環境関連法規等の
取りまとめ表

P-11

7.代表者による評価と見直し

P-12

8.環境活動の事例写真

P-13~17

1. 事業概要

■ 商号 株式会社 フジモト

■ 所在地 本 社 〒412-0025 静岡県御殿場市二の岡1-1-7
 長泉支店 〒411-0943 静岡県駿東郡長泉町下土狩938-1
 三島支店 〒411-0031 静岡県三島市幸原町2-21-39

■ 創 業 昭和43年2月

■ 設 立 昭和48年10月

■ 代表者 代表取締役 藤元 恵亮

■ 事業内容 空気調和冷暖房設備工事 消防設備工事
 給排水衛生設備工事
 送配水設備工事
 土木工事

■ 資本金 3,900万円

年 度 (6/末決算)	2020年度 (第49期)	2021年度 (第50期)	2022年度 (第51期)	2023年度 (第52期)
(6/末決算) 売上高(百万円)	764	612	704	753
従業員数(人)	18	18	18	18

■ 建設業許可 特定建設業 静岡県知事許可(特-04)第11850号
 建設業の種類: 土木、建築、大工、とび・土工、
 電気、管、鋼構造物、塗装、ほ装、水道施設、
 内装仕上、解体

工事業

一般建設業 静岡県知事許可(般-04)第11850号
 建設業の種類: 機械器具設置、消防施設
 工事業

■ その他の許可証 沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町
 水道事業指定給水装置指定事業者
 公共下水道事業排水設備指定工事店
 産業廃棄物収集運搬業 第02201098092号(自社運搬のみで他社
 のは運搬していない)
 エコアクション21認証 登録番号0005384

■ 環境管理責任者 佐藤 茂人

■ 連絡先 TEL 0550-83-7808(代)
 FAX 0550-83-7815
 URL <https://www.kk-fujimoto.com>

■ 認証登録範囲 全組織、全活動、全従業員を対象としています

2. 環境経営方針

【環境理念】

株式会社フジモトは、自然豊かな箱根西域に位置し、管、土木、建築及び機械器具設置工事を通じ、美しい近隣の自然、さらには地球環境を守るために、環境に配慮した製品の提供に努め、積極的に環境保全に取り組む企業を目指します。

【基本方針】

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、循環型社会形成を目指し、「二酸化炭素排出量の低減」と「環境及び生態系に配慮した創意工夫の工事施工」に取り組めます。

そのために、次項を実行することによって、継続的な改善と汚染の予防に努めます。

1. 環境影響の低減と環境配慮活動への取り組み

- (1) 二酸化炭素排出量(電力及び燃料)の削減
- (2) 廃棄物排出量及び水の使用量削減
- (3) 環境及び生態系に配慮した創意工夫による工事施工への取り組み

2. 環境関連法規制等の遵守

環境関連の法規制等を遵守し、法規制に対し、安心感のある企業を目指します。

3. 環境コミュニケーションの積極的实施

社外においては、環境経営活動を公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実践します。

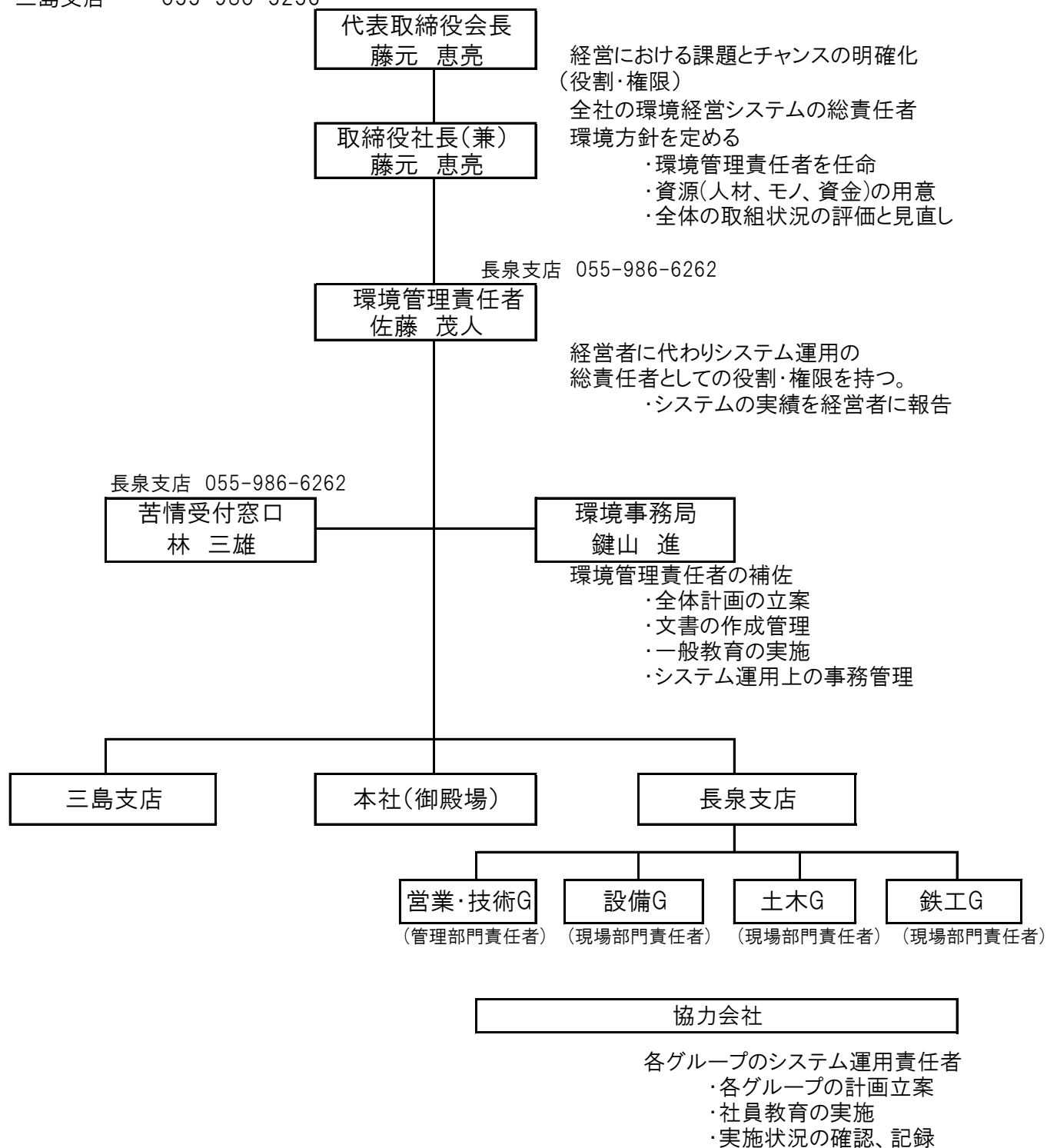
社内においては、全従業員にこの環境経営方針及び必要事項を周知し、全員参画による取り組みを目指します。

株式会社 フジモト
取締役社長 藤元 恵亮

制定 2009年11月1日
改訂 2023年 7月 1日

3. 環境経営システム実施体制(組織)

御殿場本社 0550-83-7808
 長泉支店 055-986-6262
 三島支店 055-980-5256



2011年7月1日
 改訂 2019年7月1日

4.1 環境経営目標・環境経営活動計画

(2022/7/1～2025/6/30)

環境目標(中期目標) 4年間 2023年度～2026年度

注)排出係数は2021年度東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO2を使用

		基準年度		目 標							
		2020年度 (第49期)		2023年度 (第52期)		2024年度 (第53期)		2025年度 (第54期)		2026年度 (第55期)	
		事務所	現 場	事業所	現 場	事業所	現 場	事業所	現 場	事業所	現 場
CO2総排出量の低減	低減目標 (%)	-		▲3%	▲3%	▲4%	▲4%	▲5%	▲5%	▲6%	▲6%
	電 力 kg-CO2	9,918	-	9,623	-	9,527	-	9,432	-	9,337	-
	燃 料 kg-CO2	9,802	28,755	9,511	27,901	9,416	27,622	9,322	27,346	9,229	27,072
	合 計 kg-CO2	19,720	28,755	19,134	27,901	18,943	27,622	18,753	27,346	18,566	27,072
廃棄物等総排出量	維持目標	-									
	一般廃棄物 kg	563	-	563	-	563	-	563	-	563	-
	建設副産物 再生資源率(%)	-	90.0	-	90.0	-	90.0	-	90.0	-	90.0
その他	①水資源の削減	維持目標	-								
		m ³	240	240		240		240		240	
	②環境配慮等 創意工夫による 施工法の実施	件数	7件	7件以上		7件以上		7件以上		7件以上	
	③社会奉仕等 地域貢献の向上	回数	12回	12回以上		12回以上		12回以上		12回以上	

4.2 環境経営目標・環境活動計画に対する結果(実績)・評価

(52期 : 2023/7/1～2024/6/30)

注)排出係数は2021年度東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO2を使用

	単位	<基準年度> 2020年度(第49期)			2023年度(第52期)						差異/評価(結果)						
					目標			実績									
		事務所	現 場	合計	事業所	現 場	合計	事業所	現 場	合計	事業所	現 場	合計				
CO2総排出量の低減	低減率(%)	-	-		▲3%	▲3%		-6.4%	-31.1%	-21.0%	-6.4% ↓	○	-31.1% ↓	○	-21.0% ↓	○	
	kg-CO2	19,720	28,755	48,475	19,134	27,901	47,035	17,909	19,237	37,146	-1,225		-8,664		-9,889		
	電力	kg-CO2	9,918		9,918	9,623		9,623	8,425		8,425	-1,198 ↓	○	-		-1198	○
	(購入電力)	kWh	22,490		22,490	21,821			21,821		19,104			19,104	-2,717	-	
	化石燃料	kg-CO2	9,802	28,755	38,557	9,511	27,901	37,412	9,484	19,237	28,721	-27 ↓	○	-8,664 ↓	○	-8,691 ↓	○
	(ガソリン)	ℓ	4,203	7,028	11,231	4,100	6,888	10,988	4,002	6,335	10,337	-98 ↓		-553 ↑		-651 ↓	
(軽 油)	ℓ	17	4,739	4,756	17	4,517	4,534	78	1,761	1,839	61 ↑		-2,773 ↓		-2,712 ↓		
廃棄物等総排出量	維持目標	-	-										○				
	一般廃棄物	kg	563		563		563	562		562	-1 ↑	○					
	建設副産物	%			90.0		90.0			90.0	90.0				98.9		98.9
①水資源の削減	維持目標	-						-0.8%			-0.8%	○					
	m ³	240			240			238			-2						
	②環境配慮等創意工夫による施工法の実施	件数	7件			7件以上			7件			目標値達成	○				
③社会奉仕等地域貢献度の向上	回数	12回			12回以上			12回			目標値達成					○	

(分析及び是正処置)

CO2総排出量の低減	電力、化石燃料とも目標値はクリアできた。化石燃料においては、ガソリン使用量は工事現場の変化、軽油は重機の稼働率が少なく、使用量が減少したため。 (購入電力量) 御殿場本社は20年12月、長泉支店は22年7月に事務所蛍光灯をLED化したので目標値を達成している。三島支店においては従来通りの小まめな節電を実施している。 (化石燃料使用量) ガソリン及び軽油は目標値をクリアできた。ガソリン使用量は工事受注場所との関係。軽油使用量の減少は発電機の使用減少と重機の稼働減少である。
廃棄物等排出量の低減	年度により、設備工事、管工事、土木工事の受注工事が変わり、発生建築副産物の種類や排出量が変動する。建設副産物は再生率を90%の維持目標にした。また、一般廃棄物も維持目標としている。また、産業廃棄物排出量が今年度は1,000t超えたので多量排出事業者として、産業廃棄物処理計画書を6/14に提出した。
水資源の削減	事業所全体では、小まめな節水および社内啓蒙活動により、水資源削減を図った。厳しい維持目標値だが、目標値が達成出来た。生活水が主なので、漏水点検を実施してるが、特に漏水は無かった。節水で削減を図るが、今後維持目標値は現状維持とする。
環境配慮等創意工夫による施工法の改善	各工事現場において現場代理人が積極的に創意工夫し、目標を達成した。公共工事では工事評価点に組み込まれており、積極的に取り組んでいる。
社会奉仕等地域貢献度の向上	目標はクリアした。公共事業案件を中心に工事現場ごとの社会貢献(地域貢献)の取り組みが工事評価点数に組み込まれている。公共事業で常に社会貢献を考慮し、工事を実行している。日水協の要請で御殿場水道組合として、石川県珠洲市に能登半島地震災害復旧のボランティア活動(5,13～5,19)に参加した。

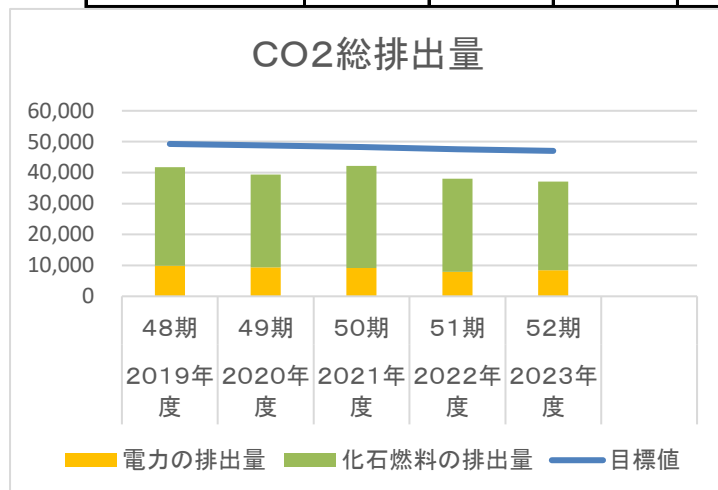
4.3 CO2総排出量等の主要な指標に関する実績の推移

1、CO2排出量推移

(1) 総排出量

単位: Kg-CO2

	2019年度 48期	2020年度 49期	2021年度 50期	2022年度 51期	2023年度 52期
目標値	49,280	48,789	48,302	47,510	47,035
電力の排出量	9,872	9,363	9,202	7,890	8,425
化石燃料の排出量	31,912	30,000	32,941	30,184	28,721



評価・コメント

電力、化石燃料とも
目標値をクリアー
出来た

(2) 電力のCO2排出量

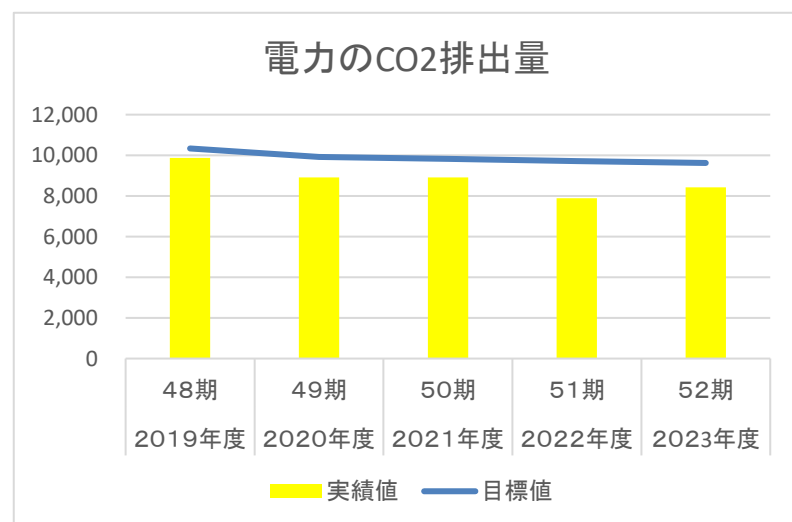
2021年東京電力

調整後排出係数0.441(2022年度より)

Kg-CO2/kWh使用

単位: Kg-CO2

	2019年度 48期	2020年度 49期	2021年度 50期	2022年度 51期	2023年度 52期
目標値	10,336	9,918	9,818	9,720	9,623
実績値	9,872	8,918	8,919	7,890	8,425



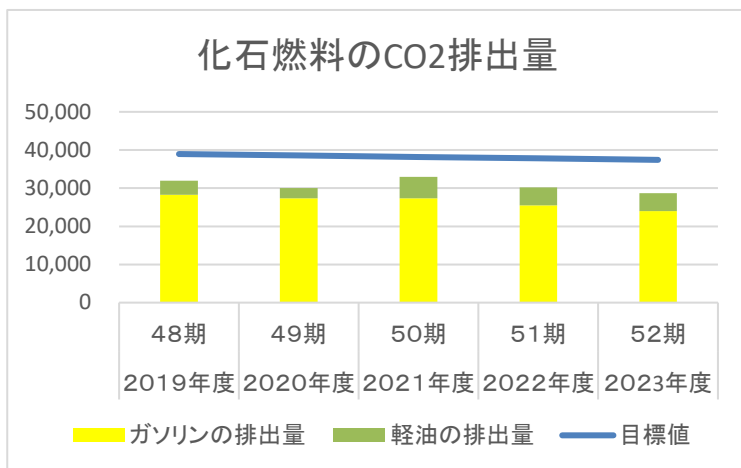
評価・コメント

長泉支店のLED化
の効果が出た

(3) 化石燃料のCO2排出量(合計)

単位: Kg-CO2

	2019年度 48期	2020年度 49期	2021年度 50期	2022年度 51期	2023年度 52期
目標値	38,944	38,556	38,171	37,790	37,412
ガソリンの排出量	28,280	27,320	27,381	25,499	23,981
軽油の排出量	3,632	2,680	5,560	4,685	4,742



評価・コメント

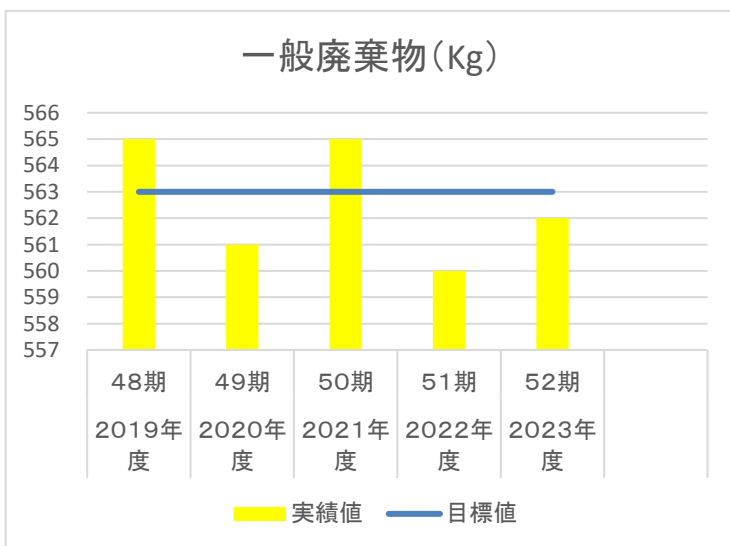
目標値をクリアー出来た。

2、廃棄物等総排出量

(1) 一般廃棄物

単位: Kg

	2019年度 48期	2020年度 49期	2021年度 50期	2022年度 51期	2023年度 52期
目標値	563	563	563	563	563
実績値	565	561	565	560	562



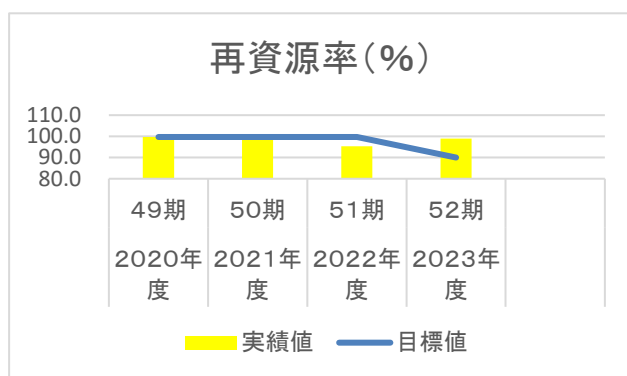
評価・コメント

達成出来た

(2)建設副産物(再資源率)

単位(%)

	2020年度 49期	2021年度 50期	2022年度 51期	2023年度 52期
目標値	99.7	99.7	99.7	90.0
実績値	99.7	99.9	95.4	98.9



評価・コメント

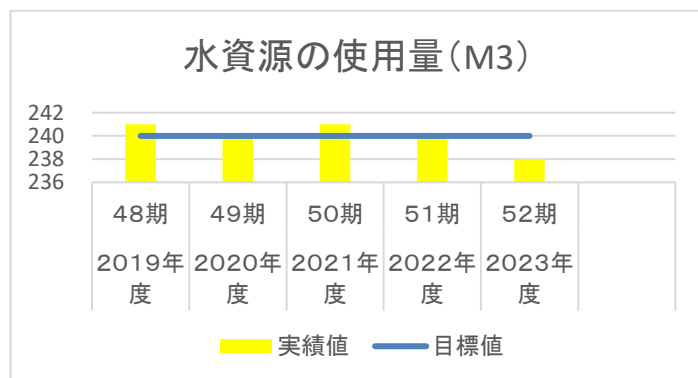
達成出来た

3、その他

(1)水資源の削減

単位:t

	2019年度 48期	2020年度 49期	2021年度 50期	2022年度 51期	2023年度 52期
目標値	240	240	240	240	240
実績値	241	240	241	240	238



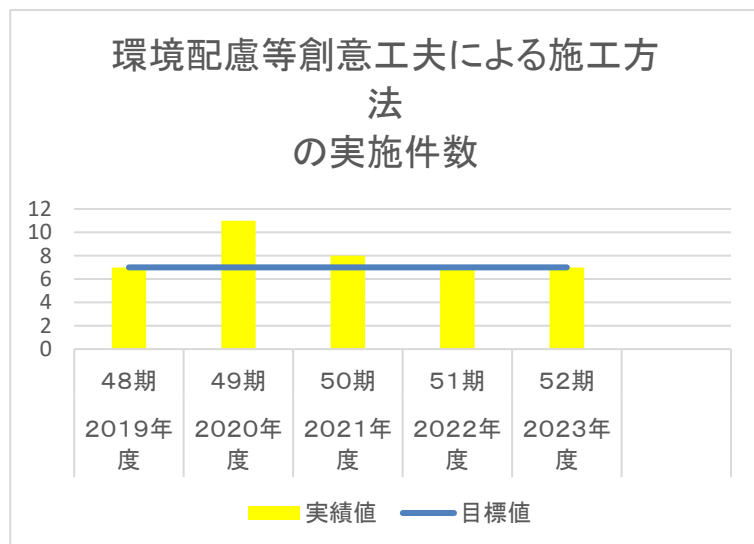
評価・コメント

ギリギリで達成
出来た

(2) 環境配慮等創意工夫による施工法の実施

単位: 件数

	2019年度 48期	2020年度 49期	2021年度 50期	2022年度 51期	2023年度 52期
目標値	7	7	7	7	7
実績値	7	11	8	7	7



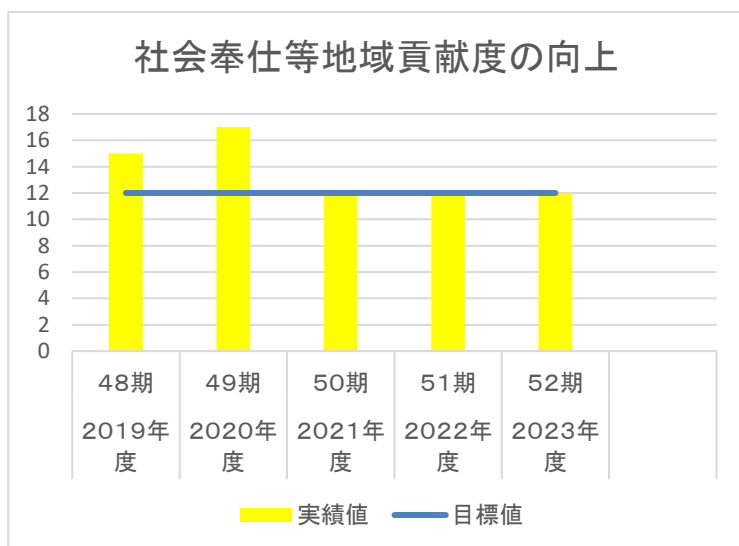
評価・コメント

各工事で創意工夫
し達成出来た。

(3) 社会奉仕等地域貢献度の向上

単位: 件数

	2019年度 48期	2020年度 49期	2021年度 50期	2022年度 51期	2023年度 52期
目標値	12	12	12	12	12
実績値	15	17	12	12	12



評価・コメント

全社員での実施と
各工事の実施でク
リアー出来た。

※ 評価点： 5点=非常に良い 4点=良い 3点=普通 2点=悪い 1点=非常に悪い

※ 評価点： 5点=非常に良い 4点=良い 3点=普通 2点=悪い 1点=非常に悪い

P-10

6. 環境関連法規等の取りまとめ表及び遵守確認

※評価基準 ○:良く順守 △:すれすれ順守 X:違反 —:該当無し

	法規名	法規制内容	法令等条項	遵守事項	評 価 ※
適切な廃棄物処理	・循環型社会形成推進基本法	廃棄物の減量化及び適正化処理	法第3条第12.3項 法第19条の5～6	・廃棄物の分別の徹底 ・排出事業者の責任は 最終処分されるまで続く	○
	廃棄物処理法	委託契約書の交付	法第12条の第4項	契約時、収集運搬及び処分の 許可証写しを合わせて交付	○
	静岡県産業廃棄物の処理に関する条例	委託先の現地確認	県条例第10条2項	追跡調査及び処分場の現地確認 (株)セキトラंसに2024年4月19日 に実査	○
		マニフェストの交付・報告	法第12条の第4項 条の3	マニフェストの交付・保管・戻り確認 県知事への報告(2024. 6、2日報告)	○
		多量排出事業者の報告	法第12条の第9項、第10項 法第12条の2第10項第11項	処分計画書の報告 (2024. 6、12日に計画書を報告)	○
建設リサイクルの推進	資源有効利用促進法	原材料等の使用の合理化及び 再生資源または再生部品の利用	法第4条	再生砕石及びアスファルト及び 塩ビ管の再生利用	○
	建設工事に係る資材の再資源等に関する法律	廃棄物発生の抑制と再資源化に伴う責務	法第5条	再資源化等の実施 (EA21の取組み)	○
地球温暖化対策・ 省エネルギー	エネルギー使用の合理化に関する法律	エネルギー使用の合理化の義務	法第72条	電力・化石燃料・水使用量の 目標達成の努力(EA21の取組み)	○
	地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガスの排出抑制等	法第5条	温室効果ガスの排出抑制に努める (EA21の取組み)	○
	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)	特定特殊自動車排出ガスを抑制するために講ずべき措置	法28条第1項	原動機が19Kw以上定期点検 該当機種は無い。	○
騒音規制	騒音規制法	特定建設作業に関する規制	法施行令第1条 法第14条	施工法の事前届出 7日前 低騒音機械の使用(公共工事対応)	○
振動規制	振動規制法	法施行令第1条 特定建設作業に関する規制	法施行令第1条 法第15条	施工法の事前届出 7日前 低振動機械の使用(公共工事対応)	○
水質汚濁防止	水道法	水道施設の清潔維持並びに 合理的活用	法第2条	水質基準の順守・節水 (上下水道、公共工事対応)	○
	下水道法	水質汚濁防止法施工例	第1条、	下水接続工事の受注対応	○
浄化槽管理	浄化槽法	浄化槽の届出 浄化槽の清掃・点検義務	静岡県浄化槽施工細目、 廃棄物の処理・清掃細目	新設、変更、廃止後に届出、30日内 (上下水道、公共工事対応)	○
化学物質管理	PRTR法	フロン(R-22)回収・保管法 排出量の把握及び管理	法第5条、第8条	大気放出禁止	○
	フロン排出抑制法	第一種特定製品を使用する管理者等の 取組	経済産業省・環境省告示 第13号(H26. 12. 10)	定格出力7. 5KW未満の簡易点検 (3ヶ月)2023/6. 8. 12. 24/3実施	○
道路使用規制	道路交通法	道路使用の許可	道路で工事を行う時、所轄 警察署長の許可を受ける	公共配水管布設工事、道路改修工事で 順守	○
	道路法	道路の占有の許可	道路で工事を行う時、道路 管理者の許可を受ける	公共配水管布設工事、道路改修工事で 順守	○
建築物の新設・施工 に関連する法律	建設業法	建設業許可制度	法第3条	許可の更新 (2022.10.19 更新済み)	○
		建設工事の請負契約締結	法第19条	契約書に記名、押印相互交付	
		経営事項審査	法第27条の23	年1度の審査を受ける	○
	石綿障害予防規則	石綿事前調査	法第3条、4条、4条の2 5条、8条、9条	工事着工前に事前調査結果を報告	○

環境関連法規等の遵守状況

- 上記の環境関連法規及び条例について、違反はありませんでした。
- 関係当局等からの指摘・訴訟・地域住民からの苦情はありませんでした。
- 石綿障害予防規則を2023年度より追加した。

遵守確認日
環境責任者

2024年 9月20日
佐藤 茂人

7.代表者による全体評価・見直し記録表

評価日 2024年9月20日
評価者 取締役会長 藤元 恵亮

項 目			代表者全体評価所見欄
1・見直し関連情報	1	環境目標及び 目標達成状況	第52期(2023年度)は、電力量・化石燃料とも目標達成することが出来た。電力量は長泉支店のLED化、御殿場本社事務所のLED化による効果が出ている。化石燃料の軽油使用量の減少は受注案件により、発電機の使用頻度の減少、自社建設重機の稼働率低下である。一般廃棄物は維持目標値をクリアした。建設副産物は再生資源率を維持目標90%で達成できた。水資源、地域貢献、環境配慮の工事は目標値を達成出来た。
	2	環境活動計画の実施 及び運営結果	環境取組計画は計画通り実行出来ている。全員が自己責任において、取り組んでいる。今年度から石綿障害予防規則の事前調査が義務化となったので追記した。
	3	環境関連法規等の 遵守状況	今年度は産廃排出量が1,117t有り。廃棄物多量排出事業者該当し、計画書を県へ提出した。工事案件に関係する法令は、現場代理人等が関連法規を確認し、遵守対応している。
	4	環境配慮・社会奉仕・ 環境緊急対応訓練等	環境配慮等創意工夫の施工、社会奉仕等地域貢献については工事案件毎に実施されている。また、緊急時対応訓練は計画通り実施され記録に残されている。水道組合の要請で能登半島地震の災害復旧ボランティア活動(5,13~5,19)に参加した。
	5	外部からの環境に 関する苦情や要望等	工事着工前に近隣区長および住民に対して説明会の開催や案内書面配布などを実行し、苦情ゼロを達成した。また、学校関連工事は、夏期休暇、休日に施工し、工事期間限定ではその期間に施工し、要望に応じた。
	6	環境活動レポート コミュニケーション	環境活動レポートは、第48期(2019年度)から2017年度版に更新した。建設副産物の維持目標は、排出量管理は2021年度から再生資源率管理(90%)に変更している。。活動写真は、該当年度の特記を記載している。会社全体の積極的な取組を理解していただければと思われる。
	7	実施体制	2017年度版を実行した

2・代表者による全体評価・見直し指示	見直し項目		変更の必要性	指示事項等
	1	環境方針	有 ・ 無	エコアクション21の認定も14年が経過しているが、創意工夫で「二酸化炭素排出量の削減」「環境及び生態系に配慮した創意工夫の工事施工」について継続的な改善を進める。
	2	環境目標	有 ・ 無	電力のCO2排出はLED化で大きく削減できた。化石燃料については受注内容(工事場所)により増減がある。夏場・冬場のアイドリングを考えたい。リサイクル率については維持目標を90%として継続する。
	3	環境活動計画及び 環境経営システム等	有 ・ 無	エコ活動は全社員に浸透しているが、退職者や新規採用者等で人事異動が有り、引継ぎと教育で、節電、化石燃料削減、再利用の活動に緩みが無いようにすること。
	4	環境関連法令	有 ・ 無	公共工事、民間工事を問わず、廃棄物や各種届出について遅延の無いように現場代理人は確認すること。法令も遵守されており、苦情、訴訟など、問題事項はなかった。
	5	環境活動レポート	有 ・ 無	活動写真を充実し、当社の社会貢献や技術がわかり易いようにレポートへの改訂を検討し実施すること。
	6	実施体制	有 ・ 無	要員の移動や職務変更した場合は即時に変更する
	全体評価・コメント (環境経営システムの有効性 環境への取組の適切性等)			当社は、公共工事が受注金額の約80%を占めており、発注者からの環境関連法規の遵守、環境に配慮した施工実施などに関する要求レベルが高い。現場担当者における高い意識と実行力により今期も大きな問題は発生しなかった。本年は優良工事表彰を受けなかったが、工事評価点83点が1件あった。全社員で安全活動、品質向上、納期短縮、創意工夫、社会貢献等で工事評価点を上げていく。目標達成を期待するとともに、循環型社会形成の3Rの活動に取り組んでいく。人事異動もあり、実施体制の見直しも検討する。

次回の環境活動レポート発行は 2025年9月末日を予定。

8.環境活動の事例写真

【節電】

太陽光発電システムの利用

三島支店の発電量 2.4kw



購入電力量(買電)	915 kwh/年
太陽光発電量(売電)	1571 kwh/年
余剰電力量	656 kwh/年

太陽電池モジュールの設置



【社会貢献・施工技術】

富士御殿場 カーブミラーの清掃



富士御殿場 歩道除草・清掃



向山小学校 奉仕作業



舗装補修



町立北中学校プールろ過機改修工事(社会貢献清掃)



町道155, 156号線(社会貢献除草)



能登半島地震ボランティア活動(2024, 5, 13~2024, 5, 19)



町立北中学校プールろ過機改修工事(創意工夫ケミカルホースの保護管)



富士御殿場工業団地(創意工夫補修弁嵩上げ)

